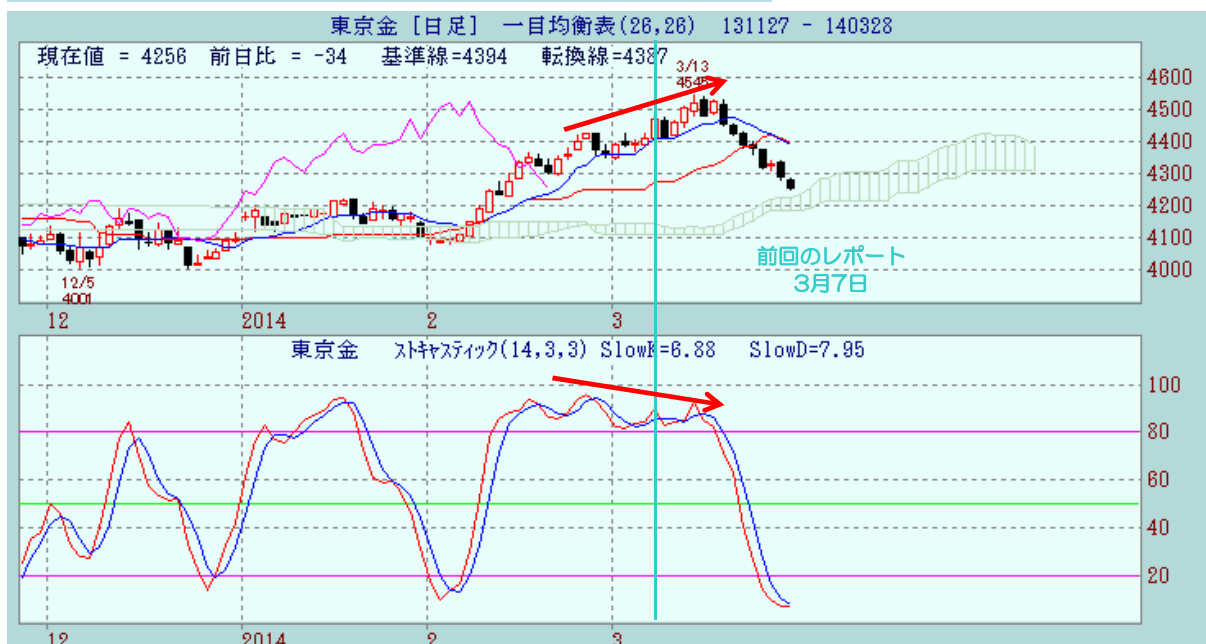




前号のおさらい：金のストキャスティクス

発行日：2014/3/28



前回3月7日発行のテクニカル分析において、「東京金は転換線に支えられるかたちで上昇している。転換線を終値で割り込まない限りは上昇基調は続くだろう。ただし、ストキャスティクスが前回の高値数値を超えない場合にはダイバージェンスとなり天井の可能性が高まるので、注意したい。」と分析した。その後も上昇を続けたが、転換線を割り込むとストキャスティクスもダイバージェンスとなったため大きく下落トレンド転換した。この先は雲に接近しておりストキャスティクスも底値圏であるため一旦下げ止まる可能性もある。

## TOPICS CCI (商品チャンネル指数) とは

CCIは、商品チャンネル指数(Commodity Channel Index)の略で、1980年にドナルド・ランバートが開発した指標。その名の通り、商品取引で使われ始めたといわれているが、現在は株式や為替、債券の分析にも広く使われているオシレーター系のテクニカル指標。CCIの計算式は以下の通り。

$$CCI = \frac{TP - MA(TP)}{0.015 * MA(\text{乖離率})}$$

TP=(高値 + 安値 + 終値) / 3  
 MA(TP)=TPのn本単純移動平均  
 MA(乖離率)=乖離率のn本単純移動平均  
 乖離率[i]=TP[i]とMA(TP)の差分(絶対値)

通常nは14がよく使われ、ラインは-100%と+100%を使う。期間nは自分が適用したい銘柄の平均的なサイクルを観察し、その3分の1の期間を指定することをランバートは勧めている。また、上下ラインのパーセンテージも変更する。

CCIの考え方の基本は、値動きには一定のサイクルがあるということをもとに、とくに商品の場合は、季節的な循環変動が見られるという特徴がある。完全なサイクルが成立しているわけではないが、上下動のサイクルが相場で観察されることはよくあり、CCIはこのようなサイクルを前提として、商品価格や株価の売られすぎや買われすぎを判断する。

## TOPICSs CCIの売買判断

逆張りの場合、CCIが100%を超えたら「売り」、-100%を下回ったら「買い」となる。  
順バリの場合、CCIが100%を超えたら「買い」、-100%を下回ったら「売り」となる。

また、ゼロラインの上下位置によりトレンドが判断できる。サイクルに加えてトレンドも重要となり、逆バリがいいか順バリがいいかは銘柄によって異なる。

## TOPICSs 金市場をCCIで見てみよう

### NY金は下落継続か



### NY金

NY金はCCIがマイナス123まで下落しているが、ボリンジャーバンドが拡大しているため、さらに下落する可能性がある。

CCIはゼロラインを境にトレンド転換となることが多く、まだしばらく下落トレンドは継続しそだが、一旦売られ過ぎてきているのでマイナス100を上回ってきたら一旦下げ止まりとなる。

### 東京金も下落余地残す



### 東京金

東京金もNY同様でCCIはマイナス130まで下落しているもののボリンジャーバンドは拡大中のためさらなる下落が想定される。

CCIの向きが横ばい、または上向きに変化するか、マイナス100のラインを上回るまでは下落は続くだろう。また、マイナス100のラインを上回ったときに逆張りでも買いを仕掛けるのも有効だ。

TOPICSs 他市場はどうか

東京白金は売られ過ぎによる反発も

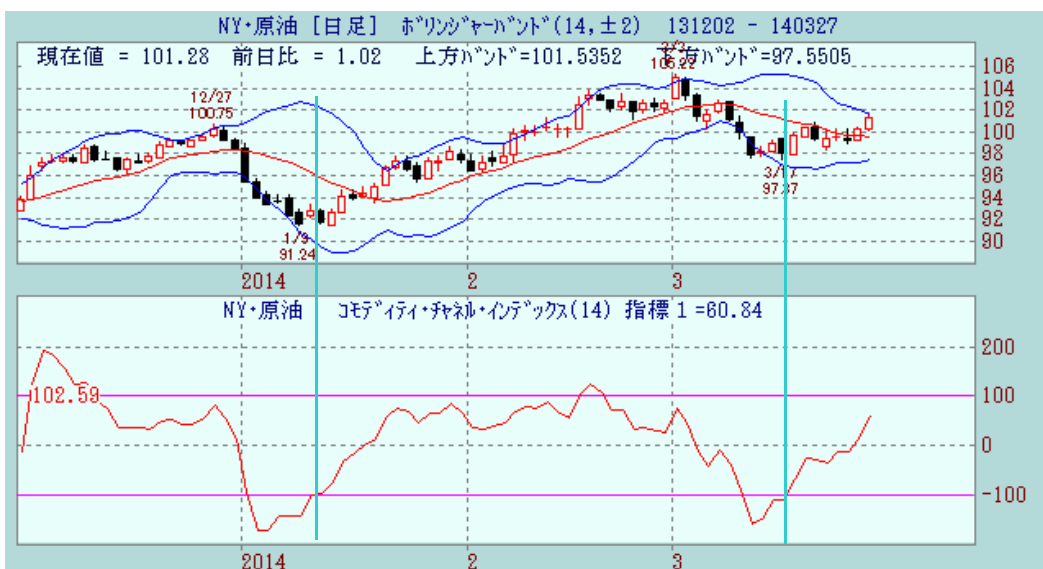


東京白金

東京白金はCCIがマイナス129と金と同様の数値まで下落しているが、ボリンジャーバンドが拡大していないため、売られ過ぎと判断でき反発しやすい状況だ。

まだCCIは下向きなので下げ止まったとは言えないが、CCIが上向きかまたはマイナス100ラインを上抜いた時点で上昇を始める可能性が高い。

NY原油はさらに上昇か



NY原油

NY原油はCCIがマイナス100ラインを上抜き、さらにゼロラインを上抜けプラスに転換したことから上昇に弾みが付くと思われる。

ただし、ボリンジャーバンドは縮小しているなかでプラス2シグマにぶつかっているため、反転に警戒は必要だが、ボリンジャーバンドが拡大を再開する場合にはさらなる上昇が期待できる。

## ドル円は方向性がない



## ドル円

ドル円は今週に入ってから狭いレンジ内での値動きとなっており予測が難しい。  
 ただ、サイクル的には上昇過程だったため、そこで上昇できなかったということは下落の可能性が高いといえる。

## 今後の予想

今週はCCIを利用し補助的にボリンジャーバンドを表示し分析した。

金は、NY・東京両市場ともCCIがマイナス100を超え売られ過ぎのゾーンに達しているが、ボリンジャーバンドも拡大中でさらに下落する可能性が高いだろう。

東京白金は金と同様にマイナス100を超えているが、ボリンジャーバンドが拡大していないため、売られ過ぎと判断でき反発しやすい状況だ。CCIが上向きになれば、上昇する確率が高いだろう。

NY原油はトレンド分岐点のゼロラインを超えたため、上昇するだろう。ボリンジャーバンドが今後拡大していけばさらなる上昇が予測される。

ドル円は値幅もなく横ばいとなっている。サイクル的には下落サイクルに入りそうだ。

掲載される情報は株式会社コモディティ インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

発行元：

株式会社コモディティ インテリジェンス  
 〒103-0014東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310  
 会社電話： 03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692  
 メールアドレス： kondo@commi.cc

